

令和 8 年度 第 1 回浦川原区地域協議会 次第

日 時 令和 8 年 4 月 28 日 (火)
午後 6 時 30 分～

会 場 浦川原コミュニティプラザ
市民活動室 4・5

1 開 会

2 報 告

- (1) 令和 8 年度浦川原区地域協議会だよりの発行について . . . 資料 No. 1
- (2) 令和 8 年度浦川原区における主な事業と予算 . . . 資料 No. 2

3 その他

- (1) 令和 8 年度浦川原区総合事務所職員配置図 . . . 資料 No. 3
- (2) 令和 8 年度浦川原区総合事務所職員一覧 . . . 資料 No. 4
- (3) 令和 8 年度浦川原区の概況 . . . 資料 No. 5
- (4) 令和 8 年度「大・浦・安」地域協議会委員研修会について . . . 資料 No. 6

4 次回の開催日について

日時 5 月 2 2 日 (金) 1 8 時 0 0 分から

日時 6 月 日 () 1 8 時 3 0 分から

会場 浦川原コミュニティプラザ 市民活動室 4・5

5 閉会

令和 8 年度浦川原区地域協議会だよりの発行について

●発行目的

浦川原区地域協議会の活動内容等について、地域住民への周知などを行うため、地域協議会だよりを発行する。

●発行方法

発行にあたり、地域協議会委員 11 人で編集委員会を構成する。編集委員会は、「発行にむけた準備」、「掲載内容の検討」、「執筆者への原稿依頼」など、記事をまとめるまで行い、区内全世帯へ配布する。

●令和 7 年度地域協議会だより発行状況

発行日	班員	内容
8/25	【第 1 班】 班長：市村副会長 杉田委員 松野委員 水澤委員	○地域自治推進プロジェクト意見交換会について ○参加した委員の感想、意見など
1/25	【第 2 班】 班長：西山委員 小野副会長 北澤委員 竹内委員	○大・浦・安合同研修会 ○町内会に関するアンケート
3/25	【第 3 班】 班長：金子委員 北澤会長 市村委員 五井野委員	○浦川原区地域協議会委員研修会 ○1 年間を振り返って

●令和 8 年度編集委員会班構成と発行時期（案）

発行予定月	班編成
8/25	【第 1 班】 班長：市村委員 小野副会長、金子委員、西山委員
1/25	【第 2 班】 班長：竹内委員 杉田委員、水澤委員、北澤会長
3/25	【第 3 班】 班長：松野委員 五井野委員、市村副会長

※各班に班長を 1 人選任

※編集委員会の開催日は、事務局から別途案内

令和 8 年度 浦川原区の主な事業と予算

(予算額は万円未満切り捨て)

事業項目	予算額	内 容
浦川原区地域振興事業	147 万円	【地域振興事業】 浦川原区の地域振興と活性化を図るため、各種イベントに補助金を交付する。 ・うらがわらまつり ・柴又地域交流 ・月影芸能まつり
浦川原コミュニティプラザ管理運営費	3,299 万円	地域における多様な市民活動の場を提供するため浦川原コミュニティプラザを運営するほか、施設の維持管理を行う。 ・コミュニティプラザ、車庫棟の維持管理
地域おこし協力隊を活用した集落支援	513 万円	「水田耕作と集落支援による地域活性化」、「月影雅楽保存会への参加による伝統文化の伝承」、「情報発信や地域外との交流による移住促進」を目的に、谷集落において地域おこし協力隊員が活動する。 ・報償費、その他活動経費等
鉄道駅舎等管理運営費	778 万円	ほくほく線利用者の利便性を確保するため、施設の維持管理を行う。 ・うらがわら駅、虫川大杉駅の駅舎及び駐車場の維持管理 【新規】 ・トイレ改修工事
地域独自の予算事業	172 万円	地域の課題を解決し、地域の活力向上を図る取組を実施する事業に補助金を交付する。 ・第 17 回浦川原和太鼓祭事業 ・うらスポマラソン大会開催事業 ・うらがわら雪あかりフェスタ開催事業
町内会集会場設置費等補助事業	881 万円	町内会集会場の整備促進を図るため、増改築・修繕等に要する費用に対して補助金を交付する。 【新規】 ・集会場修繕の補助（小谷島町内会：外壁塗装修繕） ・集会場改築の補助（虫川町内会：改築）
財産管理費	290 万円	浦川原区内の市有財産の管理を行うとともに、未利用財産の処分を進める。 ・除草業務委託（旧浦川原運動広場、旧うらがわらマナビィハウス空き地、下水道処理場隣接空き地） ・借地料（岩室森林公園用地、上越地域振興局倉庫用地ほか）

事業項目	予算額	内 容
消防器具置場整備	1,859 万円	消防器具置場の新築工事を行う。 【新規】 ・ 浦川原方面隊東分団中保倉消防部（虫川地内）
消防水利施設の整備	463 万円	消火栓新設工事を行う。 【新規】 ・ 地上式消火栓改良工事（虫川地内）
浦川原工業団地維持管理費	121 万円	浦川原工業団地の維持管理を行う ・ 緑地帯の除草 ・ 土砂分離槽の土砂撤去
浦川原区観光施設等整備事業	108 万円	霧ヶ岳公園（旧浦川原霧ヶ岳温泉ゆあみ）広場及びトイレの管理を行う。
浦川原区農村地区多目的集会所管理運営費	117 万円	浦川原区農村地区多目的集会所（浦川原里山地域活性化センター）の管理運営を行う。 ・ 鍵保管謝礼、除草謝金
農業振興公社運営費補助金	135 万円	農業振興公社の運営に対する補助を行う。 ・ 農業振興公社運営費補助金（浦川原農業振興公社）
月影の郷管理運営費	802 万円	農山村の資源や文化を観光資源とする「越後田舎体験」等の受入施設として、管理運営を行う。 ・ 指定管理業務委託（R6.4～R9.3）企業組合月影の郷 【新規】 ・ 換気扇取付工事 ・ エアコン設置工事（図工室ほか全 4 か所）
中山間地域等活性化対策事業（交付金）	1,891 万円	中山間地域等直接支払交付金を活用し、地域が連携して農地保全と担い手育成を推進することにより、中山間地域農業の振興を図る。
上越市将来ビジョン実践事業費補助金	0 万円	令和 4 年度に策定した中山間地域の将来ビジョンを実現するため、地域の本格的な実施に先立って行う準備及び試行的な取組並びに中心的な役割を担う組織体制の構築に要する経費を支援する。 ・ 上越市将来ビジョン実践事業費補助金（浦川原区）
鳥獣害対策	—	上越市鳥獣被害防止対策協議会予算 ① 電気柵設置 ・ 【更新】（浦川原区） 2 か所 L= 5,120m ② 鳥獣被害対策実施隊 箱わな設置（※日常の見回り活動等においては住民によるサ

事業項目	予算額	内 容
		ポートが必要) ③有害鳥獣捕獲活動支援事業 猟友会会員が行うイノシシ等の捕獲活動に対して支援 ・イノシシ…成獣1頭当たり15,000円、幼獣1頭当たり6,000円 ・ニホンジカ…成獣1頭当たり12,000円、幼獣1頭当たり5,000円 ほか ④新規猟銃取得支援 49歳以下、かつ、鳥獣被害対策実施隊になる人で、初めて猟銃を取得する場合、猟銃購入費の一部を支援 銃購入費(税抜き)の1/2以内(補助上限額:1丁当たり100,000円) ⑤第1種銃猟免許、猟銃の所持許可取得支援 第1種銃猟免許及び猟銃の所持許可を新たに取得し、かつ、猟友会に所属し、市の有害鳥獣捕獲に協力する人を支援(54,000円上限) ⑥わな猟、網猟、第2種銃猟免許の取得支援 狩猟免許(わな猟、網猟、第2種銃猟免許)を新たに取得し、市の有害鳥獣捕獲に協力する人を支援(10,000円上限) ⑦集落環境診断 集落の地形状況や環境を確認し、イノシシが出没しにくい環境整備を住民に指導、助言する。また、住民が実施する環境整備に対し、市・J A・農済等の関係機関が相互に連携して協力する。 ⑧農作物被害調査 全市の農家組合を対象に農作物被害調査を実施
浦川原区農村公園管理運営費	104万円	浦川原区の農村公園3か所(山本公園、菱田大池公園、虫川城跡公園)の維持管理費 ・公園管理報償費 山本地区観光施設管理組合、菱田町内会、虫川町内会
浦川原区農業用施設等維持管理費	3万円	浦川原区の農道、農業用施設の維持管理費等 ・農道、農業用施設の管理システムの維持管理経費
浦川原区既設林道維持管理事業	3,610万円	林道の適正な管理と機能維持により、利用者の安全確保と災害の発生防止を図る。 ・除草、側溝清掃委託 ・林道巡視委託 ・飯室横川線拡幅工事(飯室地内)

事業項目	予算額	内 容
中山間地域農業農村総合整備事業（東頸北部地区）	574 万円	大浦安管内 9 地区（大島区：竹平、細越、菖蒲、安塚区：板尾、坊金、浦川原区：虫川、中猪子田、菱田、東俣）の農業用施設の新設・改修を行い、効率的かつ安定的な中山間地域農業を実現するため、県営中山間地域農業農村総合整備事業に対する負担金（市・地元）を計上。 ・ R4 測量・設計（事業主体：県） ・ R5～R6 測量・設計、工事（事業主体：県） ・ R7～ 工事（事業主体：県） ※予算額は「東頸北部地区（牧区）」の合計額
浦川原区道路維持費	3,186 万円	一般交通に支障を及ぼさないよう市道を維持管理する。 ・ 現業非常勤一般職員の採用 2 人（安塚区・浦川原区・大島区の道路維持作業等） ・ 道路施設維持管理業務委託 浦川原区全域 L=78.2km ・ 道路草刈業務委託 機械除草 15 路線 L=47,100m 人力除草 4 路線 L= 4,170m ・ 市内一円道路修繕工事（破損箇所等の補修） ※道路舗装修繕工事 熊沢地内（崩下屋敷線）L=460m 小蒲生田地内（中猪子田小蒲生田線）L=363m ※外側線修繕工事 横川他地内（花立線）L=440m 顕聖寺地内（下池田上池田線）L=330m 山本地内（山本北沖線）L=100m ※印は 15 か月予算
浦川原区河川管理費	327 万円	地元住民に憩いの場を提供し、健康の増進と向上に資するため、河川公園等を維持管理する。 ・ 河川等維持管理委託（沢口ふるさと公園、桜つつみ公園、谷ふれあい公園） ・ 災害防止対策工事 六日町地内 河川浚渫工事 L=150m
除雪費（浦川原区）	1 億 4,204 万円	冬期間の市民の安全・安心及び民生の安定と産業基盤の強化を図るため市道の除雪を行う。 ・ 市道除排雪委託 車道 L=70.22km 歩道 L=1.23km
うらがわら保育園通園バス運営事業	361 万円	保育園児の通園のための専用車両を運行することにより、登園・降園時における園児の安全を確保し、保護者の負担軽減を図る。 ・ NP0 夢あふれるまち浦川原へ運行業務を委託 ・ 運行台数：1 台 ・ 利用者負担：児童一人往復利用 2,500 円/月 児童一人片道のみ利用 1,250 円/月

事業項目	予算額	内 容
		【新規】 ・夏タイヤ、冬タイヤ交換 1 台
浦川原保健センター管理運営費	491 万円	市民の健康づくりを支援するための拠点施設として管理運営し、各種事業の実施や利用者の交流の場として活用する。 ・光熱水費、施設維持管理費等 【新規】 ・廊下床張替修繕工事
生活支援ハウス運営費	1,873 万円	介護支援サービス、居住サービス及び交流の機会を総合的に提供し、高齢者が安心して健康的な生活を送られるよう支援するため、生活支援ハウスを設置・運営する。 ・指定管理業務委託料、光熱水費等 【新規】 ・廊下床張替修繕工事 ・居室エアコン入替修繕工事 ・照明器具ＬＥＤ化工事
地域支え合い事業	493 万円	高齢者の介護予防、地域における自立した生活、心身の健康保持を図るために必要な支援を行うことにより、地域において介護予防の重要性を啓発するとともに高齢者の支え合い体制を構築する。 ・NPO 法人夢あふれるまち浦川原へ業務委託 ・委託内容：協議体会議、サロン運営、サロン等送迎車運転業務、介護予防教室等
健康づくり地域支援事業	—	地域の健康課題を明らかにし、健康課題に沿った健康づくり活動が行われるように、上越市健康増進計画を踏まえた総合的な健康づくり施策を推進する。 ・健康づくり推進活動チーム研修会を開催（年 1 回） ・食生活改善推進員、運動普及推進員への委託事業
不法投棄物回収事業	—	浦川原区の不法投棄常習地点にネットを設置し、不法投棄を防止する。 ・県道柿崎牧線（朔日峠）1 か所 L=120m ・林道飯室横川線（飯室地内）1 か所 L=20m ・市道北代横新線（山本地内）1 か所 L=10m
浦川原区スクールバス等運行事業	455 万円	浦川原小学校及び東頸中学校に通学する児童・生徒に対し、安全な通学を確保するため、スクールバスを運行する。 ＜定期運行＞ ・小学校の対象地域に居住する児童の登下校 ・中学校の浦川原区居住生徒のうち、遠距離通学費補助対象地域に居住する生徒の冬期間の登校

事業項目	予算額	内 容
		<臨時運行> ・ 児童・生徒が参加する校外学習や課外活動等における送迎
浦川原地区公民館事業	32 万円	市民が健康で生きがいのある生活をおくれるよう、生涯学習の場を提供する。 ・ の～んびりノルディックウォーキング教室 ・ めぐって知ろう！ふるさとの魅力 ・ 夏休み子ども体験教室、UV レジン教室、書初め教室 ・ 夏休み☆子どもつどいのひろば ・ 親子教室～つくってあそぼう～ ・ いきいきカレッジ（シニアヨガ教室・クラフトバンド教室・冬に向けての健康講座） ・ 第 11 回手作りの小さな文化祭 ・ 公民館だよりの発行
浦川原地区公民館の管理運営	230 万円	社会教育の推進、生涯学習の拠点として、市民が利用しやすいよう施設の維持管理を行う。
浦川原区体育施設管理運営費	1,013 万円	利用者が安心してスポーツを楽しめるよう、浦川原体育館等の管理運営を行う。 ・ 浦川原区体育施設管理業務委託
体育施設整備事業	19 万円	スポーツ施設を安全で快適に利用できるよう環境整備を行う。 【新規】 ・ 浦川原体育館非常用照明修繕工事
学校体育施設開放事業	364 万円	子どもたちの夏休み期間における運動不足の解消や体力増進、水に親しむ場の提供のため、浦川原小学校のプールを開放する。 ・ 監視業務委託料、ユニットハウス借上料、水質検査手数料、薬品等消耗品費
一般スポーツ活動推進事業	78 万円	市民が一体となって当市の魅力をアピールし、ランナーへのおもてなしにより、地域振興、交流人口の拡大に寄与するため、「第 16 回えちご・くびき野 100 km マラソン」（最後）を開催する。 【新規】 ・ えちご・くびき野 100 km マラソン交付金

総合政策部 浦川原区総合事務所

資料No. 3

令和8年4月1現在

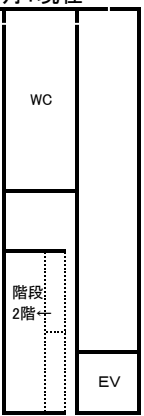
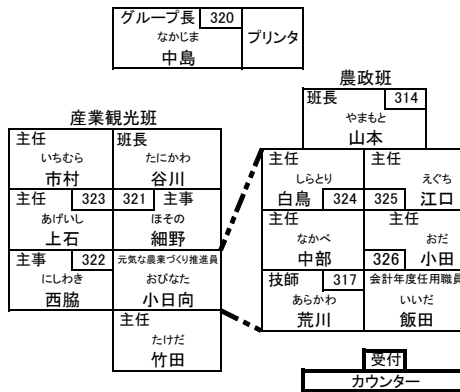
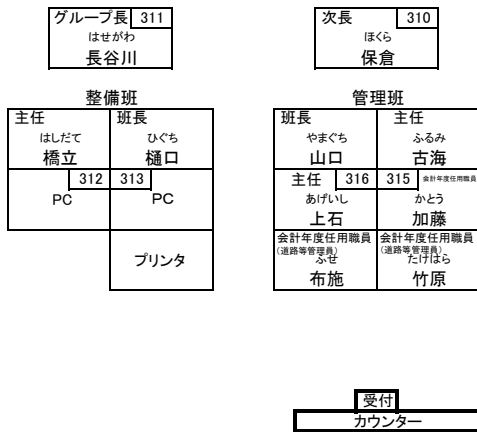
3階

建設グループ

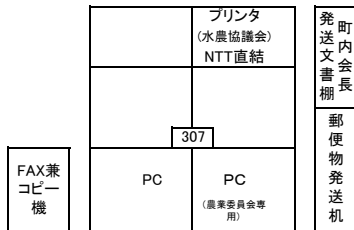
直通 TEL 025-599-2303

産業グループ

直通 TEL 025-599-2302

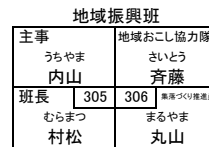


カウンター



応接テーブル

所長 300 しらいし 白石



総務・地域振興グループ

次長 301 やまざき 山崎



直通 TEL 025-599-2301

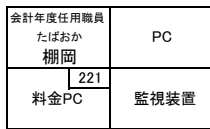
2階

ガス水道局 供給計画課 東部営業所

営業所長 220 こいけ 小池



直通 TEL 025-599-2993 FAX 025-599-2995

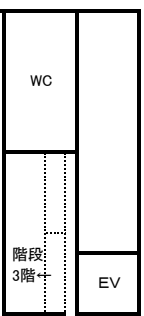


監視装置

FAX兼コピー機

〒942-0393
上越市浦川原区釜淵5番地
浦川原コミュニティプラザ
TEL 025-599-2301(代表)
FAX 025-599-2225

木田庁舎→浦川原区総合事務所
「603」+「内線番号」
浦川原区総合事務所→木田庁舎
「601」+「内線番号」



2階渡り廊下
公民館2階へ

受付カウンター

受付カウンター

コピー機

教育・文化班

プリンタ



教育・文化グループ

直通 TEL 025-599-2104

福祉班

班長 204 まつうら 松浦

班長 204 みずさわ 水澤

上席保健師長 205 こばやし 小林

管理栄養士 あいば 相羽

主任 206 かわこ 金子

グループ長 206 からさわ 唐澤

市民生活・福祉グループ

直通 TEL 025-599-2304

税・市民生活班

会計年度任用職員 201 みやぐち 宮口

主事 むとう 武藤

副主幹 202 ふせ 布施

班長 202 なんくも 南雲

介護認定調査員 203 わたなべ 渡辺

介護認定調査員 やまが 山賀

戸籍FAX

プリンタ

PC

市民相談室 218

正面玄関

令和8年度浦川原区総合事務所職員一覧(令和8年4月1日現在)

○ 所 長 白石^{しらいし}○ 次 長 山崎^{やまざき}

(総務・地域振興グループ、市民生活・福祉グループ、教育・文化グループ)

○ 次 長 保倉^{ほくら}

(産業グループ、建設グループ)

○ 総務・地域振興グループ 025-599-2301		
次長(グループ長兼務)		やまざき 山崎
総務班 ＜主な業務＞ ・消防防災、危機管理、防犯、交通安全 ・コミュニティプラザ管理 ・市有財産管理 など	班長	みずさわ 水沢
	主事	そうま 相馬
	副主幹	はぶか 羽深
	事務員	さとう 佐藤
地域振興班 ＜主な業務＞ ・地域協議会、地域振興 ・集落づくり推進員 ・公共交通 など	班長	むらまつ 村松
	主事	うちやま 内山
	集落づくり推進員	まるやま 丸山
	地域おこし協力隊	さいとう 斉藤
		会計年度任用職員 まるた 丸田

○ 市民生活・福祉グループ 025-599-2304		
グループ長		からさわ 唐澤
上席保健師長		こばやし 小林
税・市民生活班	班長	なんくも 南雲
	主事	むとう 武藤
	副主幹	ふせ 布施
＜主な業務＞ ・市税、固定資産税、納税、戸籍、印鑑登録、国民健康保険、環境保全など		
福祉班	班長	まつうら 松浦
	管理栄養士	あいば 相羽
＜主な業務＞ ・介護保険、生活保護、障がい者福祉、高齢者、保育など		
		会計年度任用職員 みやぐち 宮口
		会計年度任用職員 みずさわ 水澤

○ 教育・文化グループ 025-599-2104		
グループ長		にしやま 西山
教育・文化班	主任	なかい 中井
＜主な業務＞ ・学校、社会教育、体育施設管理、・スクールバス運行、・公民館事業など		
		会計年度任用職員 たけうち 竹内
		公民館主事 にしだ 西田

○ 産業グループ 025-599-2302		
グループ長		なかじま 中島
農政班 ＜主な業務＞ ・農林水産業 ・林業 ・中山間地域交付金 ・多面的機能交付金 ・有害鳥獣対策 ・月影の郷 など	班長	やまもと 山本
	主任	しらとり 白鳥
	主任	なかべ 中部
	主任	おだ 小田
	主任	えぐち 江口
	技師	あらかわ 荒川
	産業観光班	たにがわ 谷川
＜主な業務＞ ・商工業振興 ・観光施設管理 ・越後田舎体験 ・大浦安げんき市 など	主任	たけだ 竹田
	主任	いちむら 市村
	主任	あげいし 上石
	主事	ほそ 細野
	主事	にしわき 西脇
		会計年度任用職員 いいた 飯田

○ 建設グループ 025-599-2303		
グループ長		はせがわ 長谷川
整備班 ＜主な業務＞ ・道路、橋梁の整備 など	班長	ひぐち 樋口
	主任	はしだて 橋立
管理班 ＜主な業務＞ ・市道管理、除雪 ・公営住宅 など	班長	やまぐち 山口
	主任	ふるみ 古海
	主任	あげいし 上石
		会計年度任用職員 かとう 加藤
		会計年度任用職員 ふせ 布施
		会計年度任用職員 たけはら 竹原

○ ガス水道局 供給計画課 東部営業所 025-599-2993		
	所長	こいけ 小池
	班長	わたなべ 渡辺
	班長	はつとり 服部
	副主幹	いづか 飯塚
	副主査	たじか 田鹿
	主任	みやけ 三宅
	主任	はしだて 外立
		会計年度任用職員 たなおか 棚岡

浦川原区の概況

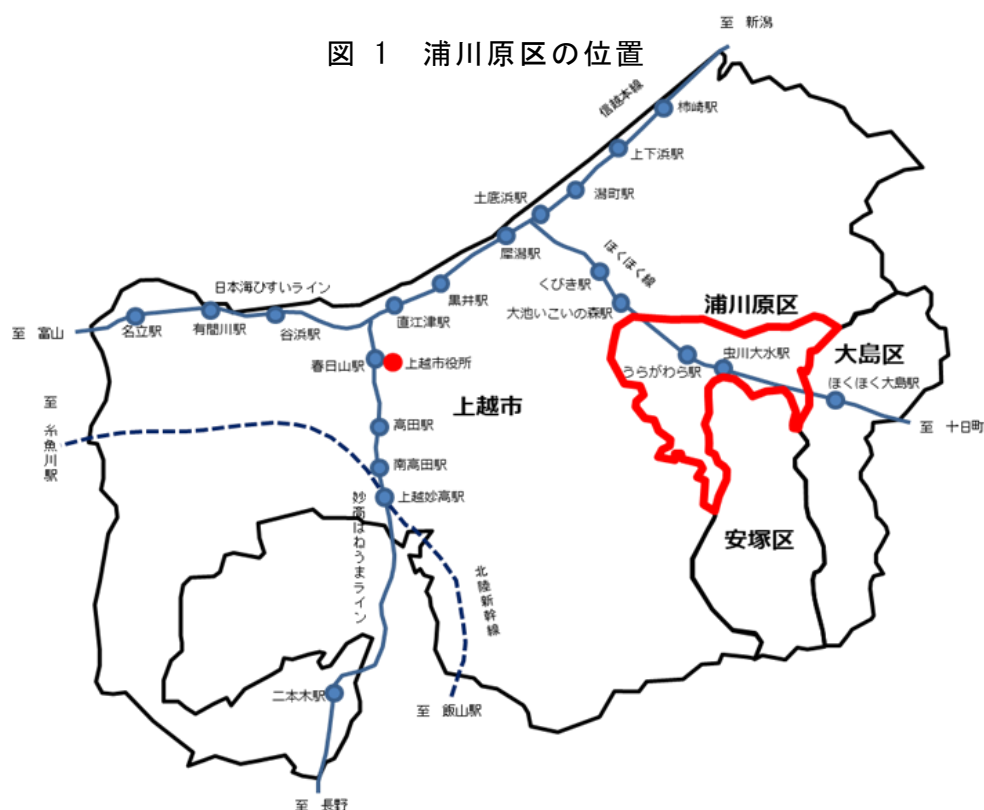
令和 8 年 4 月

浦川原区総合事務所

1 位置・地勢

浦川原区は、上越市の東部に位置し、東は大島区、南は安塚区、西は三和区と牧区、北は頸城区と吉川区に隣接し、大島区と安塚区とともに東頸地域を構成している。

総面積50.64km²、東西に走る国道253号と並行して一級河川保倉川が横断し、その保倉川を中心に農工商が発展している中山間地域である。



2 沿革

昭和23年（1948年）5月3日、「日本国憲法」の施行により、地方自治制度が大幅に改革され、社会・経済・文化の変化に伴い、住民の日常生活のための行動範囲は、これまでの町村区域をはるかに越えて大きくなった。当時、新潟県には377の町村があり、平均人口5,300人程度で、地方行政調査委員会が示した基準に達していない町村が327町村あった。

昭和28年（1953年）9月10日、「町村合併促進法」が公布されると、東頸城郡下の町村議会議長による町村合併促進委員会が発足して安塚村月影地区・中保倉地区と下保倉村全域の合併機運が高まり、昭和30年（1955年）3月31日付けで、面積48.7K m²、人口7,943人、1,253戸の浦川原村が誕生した。

翌年、牧村の坪野・平方両集落から浦川原村への編入の請願を受け、6年にわたる歳月を経て、昭和36年（1961年）4月1日付けで現在の浦川原区を形成した。

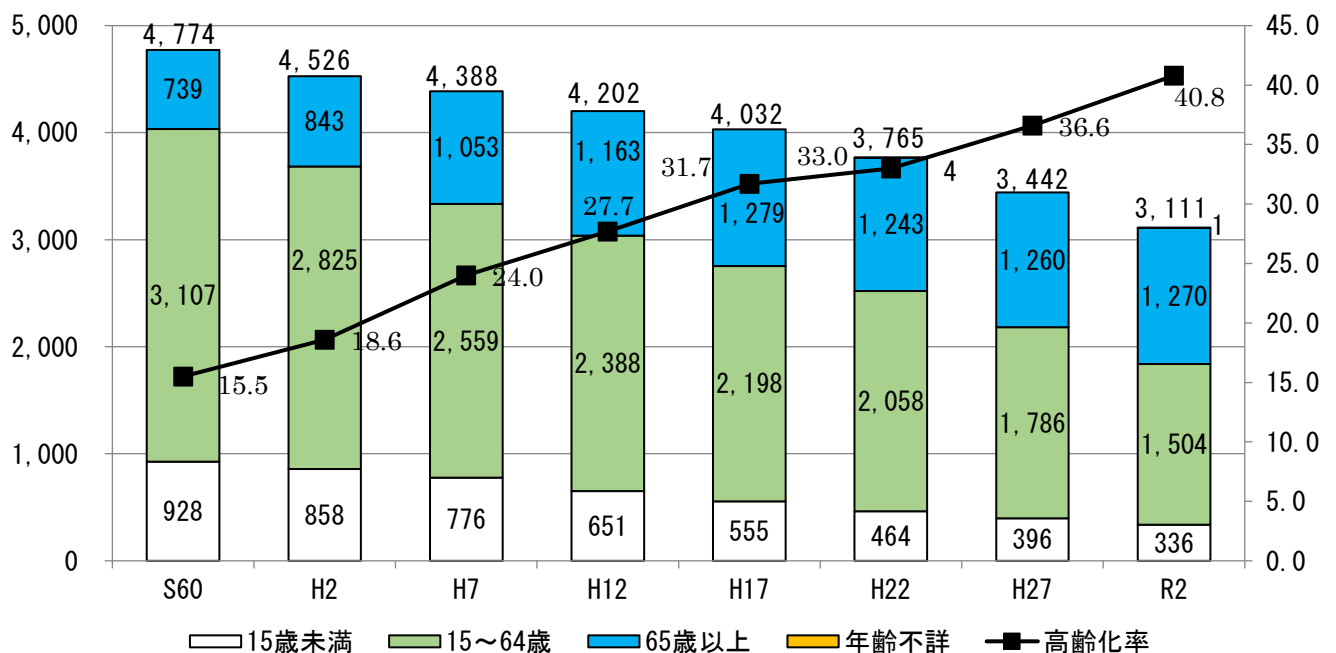
平成17年（2005年）1月1日、合併前上越市に近隣の13町村が編入合併して現在に至る。

3 人口・世帯

直近の令和2年国勢調査（10月1日現在）では、区内人口の総数は3,111人、うち65歳以上は1,270人であり区内人口に占める割合（高齢化率）は40.8%である。また、世帯数は1,051世帯となっている。住宅団地造成等の定住促進によって、一時的に人口や世帯の減少は抑制されたものの、総じて年々減少している。

令和8年3月末現在の住民基本台帳に基づく浦川原区の人口は2,850人、高齢化率は42.14%である。また、上越市の高齢化率は33.97%、新潟県は34.0%、全国は29.1%であり、浦川原区は、上越市全体と比較し、8.2ポイント、新潟県を8.1ポイント、全国を13.0ポイント上回っている。

□ 年齢（3区分別）人口及び高齢化率の推移



資料：国勢調査（各年 10/1 現在）

□ 世帯数・人口等の推移

区 分	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
世 帯 数 （ 世 帯 ）	1,241	1,194	1,183	1,193	1,187	1,130	1,091	1,051
生産年齢人口比率	65.1%	62.4%	58.3%	56.8%	54.5%	54.7%	51.9%	48.0%
総 人 口 （ 人 ）	4,774	4,526	4,388	4,202	4,032	3,765	3,442	3,111

資料：国勢調査（各年 10/1 現在）

4 旧小学校区・町内会の概況

□ 旧小学校区別の世帯数・人口・人口比率等の状況（住民基本台帳による）

地区名	世帯数	人口	平均年齢 (歳)	人 口 比 率		
				15 歳未満	15～64 歳	65 歳以上
下保倉	520	1,345	54.1	9.1%	50.2%	40.7%
末広	238	666	52.5	9.0%	50.3%	40.7%
月影	100	201	66.0	4.0%	32.3%	63.7%
中保倉	206	472	59.8	4.6%	43.7%	51.7%
区全体	1,066	2,686	55.6	7.9%	47.7%	44.3%

資料：総務・地域振興グループ（R8.4.1 現在）

□ 産業(大分類)別 15 歳以上就業者数の推移（単位：人）

区 分	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
第 1 次 産 業	571	503	348	340	218	178	124
第 2 次 産 業	923	855	762	684	570	547	467
第 3 次 産 業	1,000	1,050	1,094	1,021	1,002	997	946
分 類 不 能	-	1	1	4	113	9	60
合 計	2,494	2,409	2,205	2,049	1,903	1,731	1,597

資料：国勢調査（各年 10/1 現在）

□ 町内会毎の世帯数・人口・人口比率等の状況（住民基本台帳による）

町内会名	世帯数	人口	平均年齢 (歳)	人 口 比 率			地区名
				15 歳未満	15～64 歳	65 歳以上	
釜淵	22	56	64.8	0.0%	46.4%	53.6%	下保倉
有島	80	204	54.7	9.8%	48.0%	42.2%	
顕聖寺	152	372	52.7	9.9%	52.4%	37.6%	
下柿野	24	58	50.0	13.8%	53.4%	32.8%	
上柿野	6	15	66.3	0.0%	53.3%	46.7%	
東俣	7	14	68.0	0.0%	35.7%	64.3%	
上岡	30	88	54.0	9.1%	50.0%	40.9%	
杉坪	3	5	73.6	0.0%	20.0%	80.0%	
横川	62	168	50.6	13.1%	47.6%	39.3%	
六日町	24	57	54.7	3.5%	52.6%	43.9%	
日向	15	38	60.1	5.3%	44.7%	50.0%	
印内	25	56	57.0	5.4%	50.0%	44.6%	末広
山印内	49	129	54.2	7.0%	52.7%	40.3%	
飯室	112	331	49.6	11.2%	52.6%	36.3%	
今熊	18	57	52.8	12.3%	42.1%	45.6%	
山本	34	93	57.6	4.3%	44.1%	51.6%	
桜島	12	37	54.5	16.2%	32.4%	51.4%	下保倉
岩室	3	9	56.7	11.1%	55.6%	33.3%	
長走	37	114	54.2	5.3%	57.9%	36.8%	
菱田	43	110	52.5	10.0%	51.8%	38.2%	
谷	17	25	70.9	0.0%	36.0%	64.0%	月影
真光寺	7	15	64.3	0.0%	40.0%	60.0%	
横住	26	50	69.1	2.0%	28.0%	70.0%	
坪野	6	12	73.0	0.0%	25.0%	75.0%	
熊沢	32	78	61.3	7.7%	34.6%	57.7%	
法定寺	9	17	64.6	5.9%	29.4%	64.7%	
追出	3	4	79.5	0.0%	25.0%	75.0%	
虫川	63	155	58.3	4.5%	47.1%	48.4%	中保倉
中猪子田	77	190	58.3	4.7%	46.3%	48.9%	
下猪子田	12	29	59.0	10.3%	44.8%	44.8%	
小蒲生田	5	7	57.9	0.0%	57.1%	42.9%	
小谷島	23	46	57.6	6.5%	39.1%	54.3%	
蕨岡	16	31	67.4	0.0%	35.5%	64.5%	
上猪子田	10	14	85.6	0.0%	0.0%	100.0%	
小麦平※	2	2	88.5	0.0%	0.0%	100.0%	
区全体	1,066	2,686	55.6	7.9%	47.7%	44.3%	

※小麦平については無居住状態

※網掛けは集落づくり推進員の対象町内会

資料：総務・地域振興グループ（R8.4.1 現在）

5 農業

農業・農村は、私たちが生きていく上で欠かせない食料を供給し、その生産活動の中で、国土の保全や水源のかん養、長きにわたって形成・継承されてきた文化や伝統など、私たちの暮らしに様々な恵沢をもたらしている。

浦川原区においても、古くから農業が経済と生活文化の中心にあり、水稻の単作地帯として、令和7年6月現在、189戸が農業を営んでいるものの、経営面積が1.0ha未満の小規模経営農家が多く、農業者の高齢化と後継者の確保が大きな課題として顕在化している。

区内では、令和7年6月現在、約253haの水田に主要品種である「コシヒカリ」を中心に作付けされており、近年は農地の集約化と経営規模の拡大も相まって、酒造好適米やもち米、業務用に適した「こしいぶき」「つきあかり」といった早生から晩生まで幅広い品種に取り組まれている。

平坦部では昭和50年代から60年代にかけて基盤整備が行われたものの、山間部では未整備のほ場が多く、水田の立地が急傾斜地にあることに加え、農道の整備やため池、天水田に伴う用水不足など、厳しい生産環境下にある。

この中山間地域の農地と農村集落の振興を図るため、日本型直接支払制度等の支援制度を活用している。

また、上越随一の観光ぶどう園である山本ぶどう園では、マスカットベリーAやシャインマスカットが栽培されているほか、希少な「上越丸えんぴつナス」などの園芸作物も栽培されている。

□ 経営耕地規模別の農家数の推移

(単位：戸)

区分	計	販 売 農 家							自給的 農 家
		例外 規定	0.3ha ～ 0.5ha	0.5ha ～ 1.0ha	1.0ha ～ 1.5ha	1.5ha ～ 2.0ha	2.0ha ～ 3.0ha	3.0ha 以上	
R2	238	8	39	42	27	12	9	11	90
H27	326	4	52	73	41	20	10	8	118
H22	412	1	71	99	52	22	12	7	148
H17	522	2	92	144	71	28	6	6	173

資料：農林業センサス（各年2/1現在）

【農地保全、農業振興対策の状況】

- ・認定農業者数 26人（R8.4.1現在）
- ・令和7年度水稻作付面積（水張り面積）：252.9ha 水稻作付農家数：189戸
- ・多面的機能支払（R7年度実績）
 - ① 農地維持支払取組数：17集落 交付対象面積：202.7ha
 - ② 資源向上支払（共同）取組数：12集落 交付対象面積：168.0ha
 - ③ 資源向上支払（長寿命化）取組数：4集落 交付対象面積：70.9ha
- ・中山間地域等直接支払（R7年度実績）
 - 取組協定数：11集落協定 116.4ha 4個別協定 32.2ha 取組面積計 148.6ha

資料：浦川原区総合事務所 産業グループ

6 工業

工業団地の造成では、平成元年に印内地内に第一工業団地が、平成４年に飯室地内に第二工業団地が完成し、機械部品や製材、鉄鋼関係の企業が進出している。

令和３年（経済センサス）は、５事業所、従業者数５９人、製造品出荷額は総額で５億５,５９１万円となっている。

下記の表は、工業統計の実施年以外は、経済センサスの数値を用いている。（下記表の網掛け年が経済センサス）

また、工業統計は令和２年に終了しており、今後は経済センサスのみとなるが、令和４年以降からは、経済構造実態調査として国が直接業者に委託する形で実施している。

このことから上越市全体の数字は出るが１３区毎の調査結果は出ないとのこと。

（市総合政策部統計係確認済み）

□ 工業統計調査：従業員４人以上の事業所の状況の推移

区分	事業所数	従業者数 (人)	現金給与 総額 (万円)	原材料 使用額等 (万円)	製造品出荷額		付加価値額 (万円)
					総額 (万円)	うち製造品 出荷額(万円)	
R3	5	59	15,474	27,086	55,591	30,171	24,442
R2	8	181	51,998	141,248	266,296	193,111	105,091
H30	7	153	44,348	132,221	297,575	176,179	122,853
H28	6	149	43,082	135,929	224,695	158,718	65,704
H27	8	162	54,016	134,606	258,617	197,096	98,919
H26	6	123	43,231	147,491	271,082	197,108	105,451
H25	6	125	41,094	99,147	194,678	109,128	86,018
H24	5	109	38,980	110,283	210,904	158,910	88,799
H23	9	134	41,752	118,506	228,072	210,009	98,201
H22	6	112	37,607	118,291	231,654	190,754	105,908
H21	8	124	50,004	106,764	236,660	208,653	123,090
H20	10	144	54,277	137,277	281,299	255,671	136,528
H19	6	134	54,095	128,412	267,616	245,909	131,813

資料：工業統計調査、経済センサスー活動調査

7 商業

全国的な人口の減少と高齢化が進む状況は、中山間地域に顕著に表れており、地元商店での個人消費の縮小を招いている。事業所数も一時的な増加は見られるものの減少傾向にあり、令和３年に行われた商業統計調査では、29事業所、従業者数183人、年間商品販売額は31億1,700万円となっている。

□ 商業状況の推移

区分	事業所数 (店舗)	従業者数 (人)	年間商品販売額 (百万円)	商品手持額 (百万円)	売場面積 (㎡)
R3	29	183	3,117	—	2,712
H28	34	216	3,560	—	2,757
H26	27	133	2,278	18	1,341
H24	39	224	3,550	303	4,319
H19	59	286	4,746	441	4,602
H16	72	255	4,326	—	5,473

※商品手持額の「—」は、簡易調査の年で調査が実施されていない。

資料：商業統計調査、経済センサスー活動調査

□ 産業（中分類）別民営事業所数及び男女別従業者数の推移（単位：事業所・人）

区分	事業所数	従業者数		
		計	男	女
H28	163	1,137	660	477
H26	192	1,373	767	606
H21	210	1,426	853	573
H18	233	1,526	911	615
H13	256	1,834	1,110	724
H8	256	2,026	1,213	813

資料：経済センサスー活動調査

8 学校・社会教育

小学校は、区内の下保倉地区、末広地区、月影地区、中保倉地区の4地区にそれぞれあったが、平成13年3月31日に月影地区の月影小学校が下保倉小学校と統合した。また、平成29年4月1日には、下保倉小学校・末広小学校・中保倉小学校が統合し、新たに浦川原小学校が開校した。

中学校は、令和6年4月1日に安塚区、浦川原区、大島区の中学校が統合し、新たに東頸中学校が開校した。

□ 学年別児童生徒数

(単位：人)

区 分	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
浦川原小学校	10	14	18	18	23	16	99
東頸中学校 () 内は浦川原区の生徒数	30 (16)	35 (23)	28 (20)				93 (59)

資料：浦川原区総合事務所 教育・文化グループ (R8.4.1 現在)

□ 児童生徒数の推移

(単位：人)

区 分	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
浦川原小学校	155	140	131	134	127	121	109	99
東頸中学校※	86	93	85	71	59	95	104	93

※東頸中学校は令和5年度まで浦川原中学校

資料：浦川原区総合事務所 教育・文化グループ (R8.4.1 現在)

□ 社会教育施設

施 設 名	構 造 等
浦川原地区公民館	鉄筋コンクリート3階建 延床面積 1,107.19 m ²
高田図書館浦川原分館	浦川原地区公民館1階に併設 253.63 m ² 所蔵資料数 20,784 冊
体育館	鉄筋コンクリート造り、一部鉄骨鉄筋コンクリート2階建 延床面積 3,149.10 m ² 1階 アリーナ、トレーニングルーム 2階 柔剣道場兼卓球場、ランニング走路
旧浦川原プール	令和6年3月31日廃止

資料：浦川原区総合事務所 教育・文化グループ (R8.4.1 現在)

《国指定》

種 別	名 称	員 数	指定年月日	所在地	時 代
天然記念物	虫川の大スギ		昭 12. 4. 17	虫川	

《県指定》

種 別	名 称	員 数	指定年月日	所在地	時 代
彫 刻	木造十一面観音立像	1 軀	昭 29. 2. 10	熊沢	平安後期
工 芸 品	金銅五鈷鈴・銅舌共 銅五鈷杵	1 口 1 口	昭 40. 4. 7	法定寺	鎌倉期

《市指定》

種 別	名 称	員 数	指定年月日	所在地	時 代
彫 刻	木造薬師如来坐像	1 軀	昭 58. 12. 23	顕聖寺	平安末期
〃	木造狛犬	2 軀	〃	虫川	鎌倉後期
〃	木造天武仏頭	1 箇	昭 61. 5. 19	虫川	平安後期
〃	銅造千手観音立像	1 軀	〃	岩室	鎌倉後期
〃	木造広目天像	1 軀	昭 62. 5. 28	虫川	室町時代
〃	木造聖観音立像	1 軀	平 8. 12. 24	横住	平安後期
〃	石造阿弥陀如来坐像	1 軀	平 8. 12. 24	法定寺	鎌倉時代
〃	石造仏頭	1 箇	平 8. 12. 24	法定寺	平安末期
考 古 資 料	珠洲焼甕	1 口	昭 61. 5. 19	岩室	南北朝時代
〃	倉下経塚出土品	1 括	昭 59. 6. 22	釜淵	平安～鎌倉
〃	顕聖寺遺跡出土品	1 括	昭 59. 6. 22	釜淵	縄文初～晩
〃	多嘴瓶	1 口	昭 59. 6. 22	釜淵	平安前期
〃	経筒	1 口	平 8. 12. 24	法定寺	平安末期～鎌倉
〃	銅鐘	1 口	平 8. 12. 24	法定寺	室町時代
〃	越前焼甕	1 口	平 8. 12. 24	法定寺	
歴 史 資 料	虫川の五輪塔	2 基	昭 62. 5. 28	虫川	南北朝時代
〃	虫川の板碑	1 基	昭 61. 5. 19	虫川	南北朝時代
〃	白山神社本殿棟札	4 枚	昭 61. 5. 19	虫川	寛元3年～文化9年
〃	下猪子田の板碑	1 基	平 16. 3. 24	下猪子田	南北朝時代
〃	蕨岡の板碑	1 基	平 16. 3. 24	小谷島	南北朝時代
〃	大栃山の板碑	1 基	平 16. 3. 24	大栃山	南北朝時代
有 形 民 俗	竜笛	1 管	昭 62. 5. 28	谷	
民 俗 芸 能	月影雅楽		平 16. 3. 24	月影地区	
〃	飯室神楽		平 16. 3. 24	飯室	
史 跡	虫川城跡		昭 60. 6. 15	虫川	
〃	今熊窯跡		昭 52. 3. 30	今熊	平安前期
〃	境原遺跡		平 4. 4. 21	飯室	平安・鎌倉

資料：浦川原区総合事務所 教育・文化グループ（R8.4.1現在）

□ 地域の宝認定

名称	認定年度	所在地	申請者
保倉川太鼓	R2	浦川原区顕聖寺 109	特定非営利活動法人保倉川太鼓
虫川の大スギ	R2	浦川原区虫川 1492	虫川の大スギを守る会
山田あき歌碑	R2	浦川原区菱田大沢口 645-1	菱田町内会
聖徳太子像	R2	浦川原区菱田 622	菱田町内会
雁金城跡	R4	浦川原区上岡市ノ口 1748	雁金城跡保存会
飯室神楽	R4	浦川原区飯室	飯室神楽保存会

資料：浦川原区総合事務所 教育・文化グループ（R8.4.1 現在）

9 医療・福祉

区内には、医療・福祉施設として、民間ではあるが、診療所 2 か所と歯科医院 2 か所、老人福祉施設、就労支援施設等がある。

うらがわら保育園は、下保倉・月影・末広・中保倉保育所が統合し、平成 16 年 4 月 1 日に開園した。

□ うらがわら保育園児数

(単位：人)

区分	R 元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
5 歳児	21	15	24	22	20	14	10	11
4 歳児	15	23	22	20	14	10	13	11
3 歳児	23	21	21	13	12	13	11	9
2 歳児	13	19	12	13	13	9	8	4
1 歳児	18	8	12	12	11	7	6	3
0 歳児	1	3	3	4	2	2	0	0
計	91	89	94	84	72	55	48	38

資料：浦川原区総合事務所 市民生活・福祉グループ (R8. 4. 1 現在)

◎高齢者世帯、ひとり暮らし世帯の状況 (R8. 4. 1 現在)

- ・高齢者のみ世帯数 457 世帯 (712 人)
- ・うち、ひとり暮らし高齢者世帯数 230 世帯 (230 人)

◎要援護世帯除雪費助成事業の令和 7 年度の利用実績 (R8. 4. 1 現在)

- ・通常の除雪費助成 109 件 6,379,350 円
- ・災害救助法の除雪費助成 0 件 0 円

(参考)

この事業は、要援護世帯の家屋の屋根及び玄関前の必要最小限の除雪作業に要する費用の一部を助成する事業。

□ 要援護世帯除雪費助成事業における費用負担表

区 分	説 明
市要綱	上越市の「要援護世帯除雪費助成事業」が適用され、費用を市が負担。
災害救助法	災害救助法が適用され、費用を国と県が負担。

< 助成限度額 >

- ・通常の除雪費助成 72,100 円 (1 世帯当たり)
- ・災害救助法の除雪費助成 143,900 円 (1 世帯当たり)

□ 介護老人保険施設及び老人福祉施設等

施 設 名	定員（人）
介護老人保健施設 保倉の里	95
認知症対応型共同生活介護グループホーム 癒しの家「うらがわら」	18
特定非営利活動法人 認知症高齢者グループホームはなぞの	9

□ 就労支援施設・共同生活施設

施 設 名	内 容
特定非営利活動法人 大杉の里	就労継続支援非雇用型、就労移行支援・相談等
グループホーム ゆめほーむ	共同生活援助
グループホーム ユニス菱田	共同生活援助
グループホーム となりぐみ	共同生活援助

□ 病院・診療所等

施 設 名	診 療 科 目
浦川原診療所	内科、アレルギー科、呼吸器科、消化器科、整形外科
保倉の里診療所	整形外科、外科、内科
小菅歯科医院	歯科
丸田歯科医院	歯科

資料：浦川原区総合事務所 市民生活・福祉グループ（R8.4.1現在）

10 道路・河川

当区には、一級河川「保倉川」と平行して国道 253 号が東西に横断しており、主要地方道柿崎牧線が中央を南北に縦断しているほか、上越安塚柏崎線が南部地域を東西に横断している。

また、国道 253 号は北陸地方と首都圏を結ぶ最短路線として位置付けられ、大型貨物自動車の交通量も増加傾向にあることから、上越市と南魚沼市を結ぶ「上越魚沼地域振興快速道路」の早期整備が望まれている。

鉄道は、六日町と上越市を結ぶ第三セクター鉄道「北越急行」が平成 9 年に開業し、通学・通院のほか、首都圏への移動にも多く利用されるなど、住民の利便性向上に貢献している。

市道は 172 路線、実延長 132.89 km であり、規格改良済の比率は、第 1 級路線 95.6%、第 2 級路線 92.6%、その他路線 43.9%となっている。

□ 市道の現況

(単位：路線：m)

種別	路線数	実延長	規格改良済	未改良	永久橋		トンネル		歩道延長 (設置延長)
					個数	延長	個数	延長	
第 1 級	10	25,077.9	23,970.6	1,107.3	8	311.6	-	-	72.0
第 2 級	8	18,100.9	16,756.1	1,344.8	8	161.9	-	-	133.7
その他	154	89,714.9	39,398.3	50,316.6	36	393.3	-	-	387.9
合 計	172	132,893.7	80,125.0	52,768.7	52	866.8	-	-	593.6

(つづき)

(単位：m)

種別	規格改良済				未改良			
	19.5m 以上	13.0m 以上	5.5m 以上	5.5m 未満	5.5m 以上	3.5m 以上	3.5m 未満	うち自動車 交通不能
第 1 級	-	19.0	8,308.1	15,643.5	-	-	1,107.3	630.6
第 2 級	-	-	2,480.6	14,275.5	-	195.8	1,149.0	-
その他	14.8	58.8	7,874.1	31,450.6	39.7	2,890.9	47,386.0	9,585.3
合 計	14.8	77.8	18,662.8	61,369.6	39.7	3,086.7	49,642.3	10,215.9

資料：浦川原区総合事務所 建設グループ (R8.4.1 現在)

◎農道延長 (資料：浦川原区総合事務所 産業グループ R8.4.1 現在)

市管理：14,956m 地元管理：79,900m

◎林道延長 (資料：浦川原区総合事務所 産業グループ R8.4.1 現在)

自動車道 1 級：0.0m 自動車道 2 級：13,884m 合計：13,884m

□ 主な河川（1級河川）

河川名	延長	源	合流点
保倉川	54.7km	大島区菖蒲（野々海峠）	上越市港町（関川）
猿俣川	4.0km	浦川原区上岡	浦川原区横川
柿野川	2.6km	〃 上柿野	〃 横川
高谷川	11.5km	牧 区切光	〃 有島
平方川	1.8km	〃 平方	〃 横住
小黒川	13.7km	安塚区伏野（不動滝）	〃 釜淵
細野川	5.5km	〃 細野	〃 虫川
熊谷川	4.4km	浦川原区上猪子田	〃 蕨岡

資料：浦川原区総合事務所 建設グループ（R8.4.1現在）

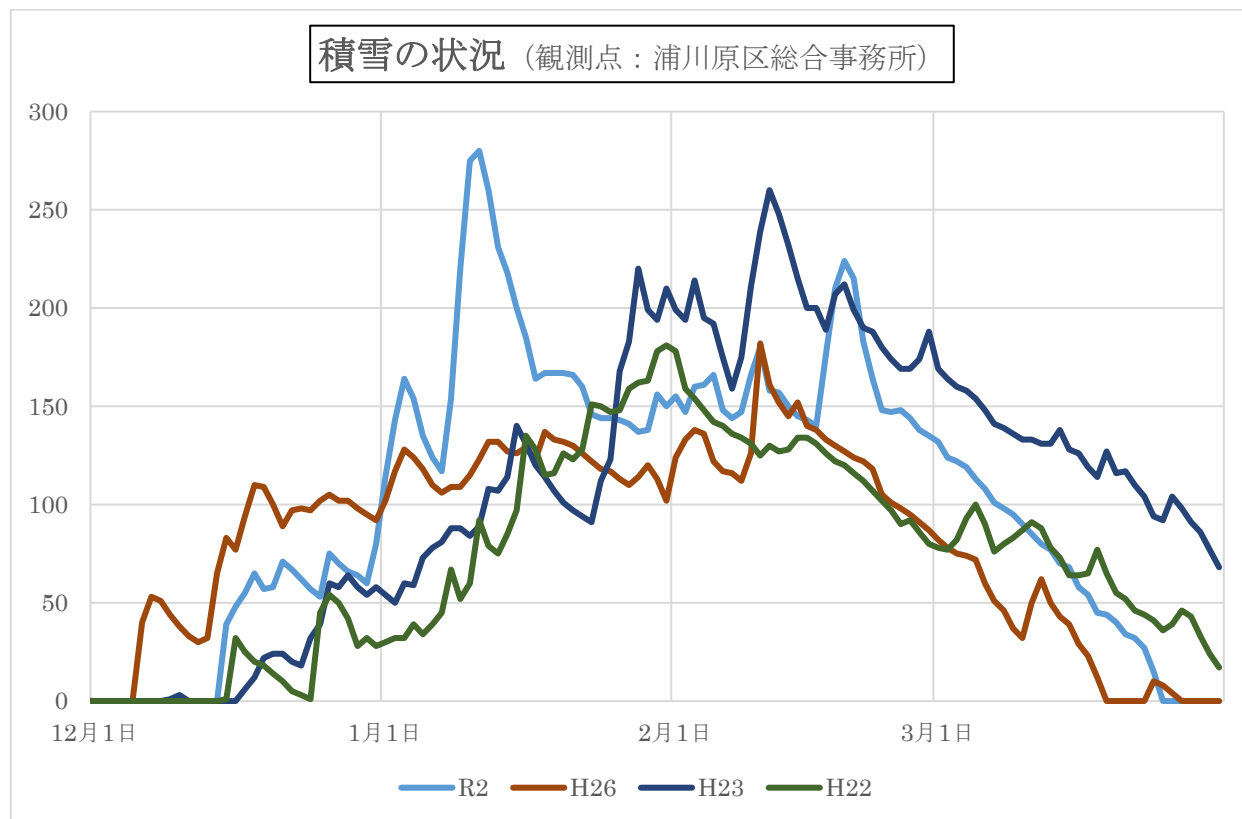
□ 市道除雪延長（令和7年度除雪計画）

（単位：km）

区分	車 道	路線別内訳				歩道
		特1種路線	1種路線	2種路線	3種路線	
延長	70.22	0.00	13.51	48.30	8.41	1.23

資料：浦川原区総合事務所 建設グループ（R8.4.1現在）

□ 積雪の状況（豪雪時）



□ 農村公園の状況

(単位：㎡)

名 称	設置年度	住所	公園面積
山本公園	S48	上越市浦川原区山本 1325-1	40,332.33
菱田大池公園	H8	上越市浦川原区菱田 742-1	10,119.10
虫川城跡公園	S62	上越市浦川原区虫川 1521	3,621.70

資料：浦川原区総合事務所 産業グループ（R8.4.1現在）

□ 河川公園の状況

(単位：㎡)

名 称	設置年度	住所	公園面積
沢口ふるさと公園	H8	上越市浦川原区中猪子田	29,650
桜つつみ公園	H8	上越市浦川原区長走	4,900
谷ふれあいパーク	H7	上越市浦川原区谷	2,730

資料：浦川原区総合事務所 建設グループ（R8.4.1現在）

1 1 公営住宅

公営住宅の管理戸数は78戸、令和8年4月1日現在の入居率は62.8%。

□ 公営住宅の状況

名 称	建設年度	構造・棟数	管理戸数	入居戸数
市営山印内住宅	S53	簡易耐火3階建 1棟	10	4
市営顕聖寺住宅1号棟	S54	簡易耐火3階建 1棟	10	3
市営顕聖寺住宅2号棟	S61	木造3階建 1棟	10	6
市営虫川住宅1号棟	S62	木造3階建 1棟	4	2
市営虫川住宅2号棟	S62	木造3階建 1棟	6	4
市営飯室住宅	S63	木造3階建 1棟	10	7
市営メゾン上池田住宅	H5	中耐4階建 1棟	12	9
市営メゾン山崎住宅（一般）	H11	中耐5階建 1棟	12	10
市営メゾン山崎住宅（特公賃）	H11	中耐5階建 1棟	4	4

資料：浦川原区総合事務所 建設グループ（R8.4.1現在）

1 2 観光・交流

宿泊体験交流施設「月影の郷」は、平成 13 年 3 月に閉校となった旧月影小学校を月影地区の拠点施設として位置付け、その利活用に当たり地域と関わりがあった 4 大学（法政・早稲田・横浜国立・日本女子）との協働事業で改修、再生し、平成 17 年 4 月に宿泊体験交流施設としてオープンした。スポーツ団体の合宿利用、季節に応じた各種体験（田植え、稲刈り、食体験）を楽しむことができ、平成 11 年から旧東頸城郡 6 町村が連携して企画・実施してきた「越後田舎体験事業」の活動施設として首都圏を中心に誘客活動を進めたことにより、利用者が年々増加し、浦川原区の交流拠点となった。

「越後田舎体験事業」では、首都圏などから田舎の暮らしや自然を体験し、地域住民と交流する「農村生活体験」や「民泊」を推進していることから、地域に子供たちが訪れ、地域振興や賑わいの創出につながっている。

また、山本ぶどう園は浦川原区西部の三和区と接するところに位置し、標高 150 m の「山本山」にある。20 戸の農家が約 5.6ha のぶどう園を営んでおり、上越市随一の規模となっている。

□ 観光施設利用者の推移

（単位：人）

区 分	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
月影の郷	7,944	7,245	6,844	2,736	5,247	6,396	6,013	6,942
山本ぶどう園	12,500	12,000	12,200	14,600	12,200	10,000	10,000	10,000

資料：浦川原区総合事務所 産業グループ（R7.4.1 現在）

□ 越後田舎体験受入実績（浦川原区分）

年度	団体数	団体の内訳				人数	泊数	うち民泊	
		小学校	中学校	高校 大学	団体等			団体数	泊数
R7	6	1	4	0	1	139	38	5	38
R6	11	0	11	0	0	288	93	8	62
R5	7	1	4	0	2	226	46	0	0
R4	7	1	5	1	0	275	38	0	0
R3	3	0	2	1	0	119	0	0	0
R2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R1	13	3	8	1	1	421	109	7	75
30	16	4	10	0	2	526	54	6	54
29	10	3	7	0	0	302	101	5	57

資料：浦川原区総合事務所 産業グループ（R8.4.1 現在）

1 3 消防・防災

上越市消防団浦川原方面隊は2分団で組織されている。東分団は令和7年4月から虫川、中猪子田、小谷島の3消防部を中保倉部に統合再編し、有島、月影と合わせ3消防部に、西分団は顕聖寺、長走、横川、末広の4消防部で構成されている。

自主防災組織は区内34町内会のうち31町内会で結成されており、それぞれが消防団と連携しながら避難訓練等を行っている。また、平成29年11月に上越市防災士会浦川原支部が設立され、地域防災力の強化に向けて活動を行っている。

□ 消防力の概要

区分	団員	分団	部	消 防 ポ ン プ 車	積 載 車	小 型 動 力 ポ ン プ	防火水槽		消火栓
							有蓋	無蓋	
総数	158人	2分団	7部	2台	9台	15台	59基	22基	239基

資料：浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ（R8.4.2現在）

□ 自主防災組織の結成状況

対象町内会数	結成町内会数	世帯数ベースでの組織化状況		
		世帯数	結成済の世帯数	組織率
34	31	1064	1047	98.4%

※世帯数は各集落からの報告数による

資料：浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ（R8.4.1現在）

令和8年度「大・浦・安」地域協議会委員研修会について

資料No. 6

年度 幹事区	日時	場所	研修テーマ	研修講師	情報交換会場所	情報交換会 参加費
令和3年度 大島区	5月6日（木） 19:00～（1時間30分程度）	大島就業改善センター 3階 大会議室	「上越市と地域協議会」 ～上越市における地域自治体の在り方～	上越市副市長 野沢 朗		
令和4年度 安塚区	2月17日（金） 18:30～（1時間程度）	安塚区コミュニティプラザ 2階 ホール	中山間地域のまちづくりに関して 地域協議会に期待すること	上越市副市長 小田 基史		
令和5年度 浦川原区	11月10日（金） 15:30～（1時間30分程度）	浦川原区コミュニティプラザ 4階 市民ホール	中山間地域における空き家の利活用	NPO法人ざいごう 古澤 良春 理事長	大島庄屋の家 「宿泊棟」	5,000円
令和6年度 大島区	11月13日（水） 15:30～（1時間45分程度）	大島就業改善センター 3階 大会議室	持続可能なまちづくりについて	上越市創造行政研究所 所長 藤山 浩	大島庄屋の家 「宿泊棟」	5,000円
令和7年度 安塚区	11月10日（月） 15:30～（1時間40分程度）	雪だるまキューピットバレイ センターハウス内	地域協議会と地域団体の連携について	中郷区地域協議会 会長 竹内 靖彦	同会場	6,000円